

第4回 議員定数等議会改革推進特別委員会記録

日時：令和2年1月21日(火)

14時30分～16時03分

場所：第4委員会室

【出席者】 ~~牛尾委員長~~、西川副委員長、沖田委員、小川委員、笹田委員、佐々木委員
西田委員、西村委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 古森局長、篠原書記、新関係長

議 題

1 会派代表質問のあり方について

(1) 「会派代表による一般質問」実施要領(案)について

資料 1

資料1により説明→仮通告の後に括弧書きで本通告に準じるを挿入する

1月22日開催の議会運営委員会へ提案することを決定

(2) その他

2 議員定数等について

(1) 面積600km²～750km²の団体における議員定数等について

資料 2

資料2により説明

(2) 定数24人の団体の状況について

資料 3

資料3により説明

(3) 最近議員定数を改正した団体の状況について

資料 4

資料4により説明

(4) 今後のスケジュール(案)について

資料 5

資料5により説明

(5) その他

最近、定数を増やしている団体、長く定数を維持している団体の一覧

人口4万人～6万人の団体の議員定数の一覧

定数24人の団体の報酬(年収)の一覧

報酬審議会が出されたデータ

3 その他

(1) 平成24年8月実施の「浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート調査実施報告書」の配布

今回も何らかの方法でアンケートを実施することを決定

○次回開催 2月18日(火) 10時00分 第4委員会室

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開議 14時30分)

西川副委員長 議員定数等議会改革推進特別委員会を始める。本日は委員長が体調不良により欠席のため、私が議事進行を務める。

議題1 会派代表質問のあり方について

(1)「会派代表による一般質問」実施要領(案)について

西川副委員長 事務局から説明をお願いします。
篠原次長 (以下、資料1をもとに説明)
西川副委員長 視察先の例にならって調整をすることとした。委員からご意見がいただきたい。

笹田委員 やったことがないので答えようがない。質問量にもよるし、施政方針を基に作られた場合は結構被るのでは。判断しかねる。

佐々木委員 一度やってみないとわからない。想定できるのは、施政方針をストレートに質問すれば被る可能性が高い。会派の提言も混ぜながらやれば被ることが少ないかもしれない。そのへんも踏まえて質問もすべき。基本的にはやってみて、調整ができるかも含めて。

西川副委員長 明日の議会運営委員会で最終的に話し合うことになる。時間については60分が長いという意見もあったが、時間もなかったので3人会派を4人に変えただけにした。これについて何か意見は。

西田委員 会派人数と持ち時間にはあまり影響してもいけないし、影響もしない。長い時間ならそれだけ一項目を長い時間かけるか、短時間でやるかでしかない。のびのびと会派内でされたら良いのでは。持ち時間内で十分やれると思う。また先々で検討したらいい。

小川委員 小項目まで含めたものを2日前に出すというイメージか。それとも中項目までか。仮通告にはどのあたりまでを出せばいいか。

篠原次長 中項目くらいまでをイメージしている。会派代表者会議であとは調整する。読み原稿まで作られても、調整の結果取りやめということになれば無駄になる。骨子をみなさんで出し合って調整していただくイメージ。

西川副委員長 2日前の11時だとそれは厳しいような気がする。

笹田委員 仮通告の部分に「中項目」と付け足してもらいたい。また、2日前ではほぼ決まったものが出るので、もう少し前でなければ。

佐々木委員 中項目までだと内容がわからない。きちんと文章で示したうえでの話し合いでないと先へ進まないのでは。小項目まで示さねば話し合いにならないのでは。

笹田委員 例えば、歴史資料館の予算についてなのか場所についてどうか、とか。その程度は出してもらわないとわからないと思う。

佐々木委員 小項目まで示さないと調整できない。

笹田委員 小項目を被らないようにすれば、中項目はいいという話になる。

佐々木委員	読み原稿までとは言わないが、趣旨が分かるところまで出さないと調整できないだろう。
西田委員	私のイメージは、小項目の、会派や個々で違うので、何が聞きたいか。言いたいか。小項目で箇条書きにして、財源なら財源、ここをこうすることについて市はどう考えているか、我々の会派ではこう考えるがどうか。何が聞きたいかを小項目で箇条書きされていれば、被っていれば調整がきく。同じ項目でも違う主張であれば聞いてもらわなければならない。
西川副委員長 笹田委員	小項目までないと調整ができない。 質問の重複を避けるためにやるのに、項目が被るのは変わらない。言い回しを変えれば済む。同じ題材を扱うことを避けるのか、小項目の表現が被るのを避けるのか。どこの重複をさけるのかになってくる。
小川委員	今まで「何々会派にお答えしたように」という答弁がよく出てきた。そのあたりを市民が見ると、同じことを聞いているように感じる。年間入場者数等、同じことを聞くのはダメだと思うが。
西田委員	会派代表質問はそもそも何か、大局的に聞かないといけない。細かいことまで聞いたら個人一般質問と変わらない。
沖田委員	施政方針に対する質問なので絶対重複すると思う。聞き方だと思う。会派ごとに言い分が違うが、それを重複と言われるのは違うのでは。これでまずやってみるしかないのでは。
西川副委員長	中項目くらいまでというのと、2日前の11時でやってみるかどうかが。
佐々木委員 西川副委員長	中項目でやると議論にならない。何度も言うようだが。 それでは小項目までを2日前の11時までということをやってみる。それとももう少し前にするかどうかが。これについては。
西田委員 古森局長 西田委員 笹田委員 佐々木委員 古森局長	施政方針はいつ出るか。 2月4日、ないし5日。 では10日くらいある。 もう少し伸ばしたほうがいい。せめて会派で議論する時間もいる。 協議したのちに再度会派に持ち帰る時間もいる。 もう一日前倒しするとなると、11日が祭日なので10日、それより前となると8日等になる。それは厳しいのでは。
西田委員 古森局長 笹田委員	10日の夕方までとか。 代表者会議をどこに設けるかによって変わる。 これでやってみるか。10日だと1週間ないので厳しいが、その厳しい中でやってみるか、2日前にやってどこまで調整できるかをやってみるか。どちらかになる。日程を見る限り質問を作るのが大事。
西川副委員長 古森局長 佐々木委員	会派代表者会議はだれが招集するのか。 副議長。 集まる人数は。

古森局長 西川副委員長	各会派から1人ずつ。今5会派あるので、それと副議長。 では今回はこの案で明日の議会運営委員会に諮りたい。よろしいか。 (「はい」という声あり)
笹田委員	きっちりした質問、どういう質問をするかまでつくって出して協議で 良いか。
西川副委員長	はい、通告書の形で提出して欲しい。 その他何かご意見は。
西村委員 西川副委員長	質問時間はこれで決まりか。 ご意見があれば言って欲しい。議論の時間がないので今回はこれを出 して良いかと思っている。
笹田委員 篠原次長	自分はこれで良いと思う。 ④に戻る。文言について。文言は変えずに、具体的に出すという共通 認識を持ってもらうだけにするか、文言を変えるか、どちらが良いだろ うか。
西川副委員長	仮通告まで作るということなら、この文言でも意味は通っているので、 これで良いのでは。
古森局長 笹田委員	あっさり質問小項目というのを表に出したらわかりやすいのでは。 質問項目の重複を避けるかどうかはまだ分からない。やってみてから 進化していく。これで良いと思う。
古森局長 西村委員	小項目という言葉を出すかどうか。 通告書というのは最終的な通告のこととするなら、これで良いのでは。 その通告が小項目まで書いてあるものということがわかるような文章に すればいい。
西川副委員長	仮通告の部分にも小項目までというのが分かる表現を入れていただく よう、事務局にお願いします。
佐々木委員	仮通告の意味が伝わらないといけない。本通告に準ずるものとか。小 項目そのものずばりではなく、内容が分かれば良いので。
西川副委員長	本通告に準じるという表現でよろしいか。 (「はい」という声あり)
西田委員	公明は絞ってされるが、あとは30分だろうが60分だろうが、施政方 針の順番で聞いていくので、本通告に準ずる通告が出たとしても、だい たい施政方針の順番で聞くだらう。
西川副委員長	とりあえずやってみよう。良いか。 (「はい」という声あり)
西川副委員長	ではやってみるということでお願ひする。

議題2 議員定数等について

- (1) 面積 600 km²~750 km²の団体における議員定数等について
- (2) 定数 24 人の団体の状況について
- (3) 最近議員定数を改正した団体の状況について

(4) 今後のスケジュール（案）について

(5) その他

西川副委員長 篠原次長	今後のスケジュールを先にしたほうが良いように思う。 資料5をご覧いただきたい。 (以下、資料5をもとに説明)
西川副委員長 篠原次長	議員定数については6月に中間報告をして、9月には変えるのであれば最終報告ということか。 中間報告というのは、当委員会としての中間報告という意味で。議員定数については確かに最終報告だが。
古森局長 西川副委員長	委員会が続く限りはずっと中間報告となる。 月2回ペース、議員定数関係と議会改革。定数については6月に中間報告、9月に最終報告。委員からご意見は。 (「なし」という声あり)
西川副委員長 篠原次長 西川副委員長	では議題(1)に戻る。事務局から説明をお願いする。 (以下、資料2から資料4をもとに説明) 私から補足資料を用意した。議員定数を調べていたら、横須賀市議会の議員がデータを出していた。参考まで。 人口と議員定数にはだいたい相関関係が見られるというデータ。 もう1つ、面積もある。同じデータを面積を横軸にすると、面積と議員定数に相関関係は見られないというもの。2016年データでそれほど古くないので活用できると思う。 3つの資料についてご意見等は。最近定数を変えた団体の一覧は私からお願いしたが、もし今後視察にいくなら参考にしたいと思っている。
小川委員	資料4の中で、萩市だけ6減っていて、合併特例措置等の理由があったのか。そうでないと一度に6減というのは考えにくい事務局で把握されているか。
篠原次長	詳細は把握していないが、合併当初の人口はだいたい同じくらいだが、人口減少が激しく、いきなり4万人台になっており、議員定数もいきなり減らされたのではと推測する。
小川委員	萩市は田万川町と須佐町と合併した。その間にあった阿武町を飛ばしている。人口減が一番大きいのかも。
古森局長	萩は2010年4月に26人。2018年に20人なので8年間は26人を維持している。合併特例でもないかもしれない。
西川副委員長 西田委員	何か他にあれば。 もともと萩は観光で潤ってきた。しかしここ数年、非常に厳しい状況で財政も厳しいと思われる。財政的に相当な危機感を持っている。長門も市が方針を変えたりしている。阿武町がなぜ萩市と合併しなかったのか。まわりに色々聞くと、阿武の道の駅は人が多いが、それが阿武町の財政を背負うまでではない。自衛隊は萩市だし、阿武町が自立しているのが非常に謎。それを聞きに行きたい。萩と阿武町の間を。

<p>笹田委員 佐々木委員</p>	<p>近くだし勉強しに行くのも手かと思う。</p>
	<p>最近定数を改正した所の資料を見ると軒並み減らしている。最近は減らす一方ではなく、議員が市民のために何をやっているか、なるべく分かってもらい、市民がどう判断されるかをしっかり追及すべきだと思う。財源の話も、1人2人減らしたところでそれほど影響はしない。仕事も増えている。減らすことが果たして正解なのかをむしろ議論すべきでは。議会が何をしているかを勉強した上で定数は議論しなければ。減らしていない、逆に増やしているところもあるかもしれない。そういう資料が欲しい。面積、人口比、財政面だけではなく。現段階で、減らさない、増やした所に視察に行けば勉強になるのでは。</p>
<p>西川副委員長</p>	<p>議論をしたが減らしていない所。増やしたところはないかもしれないが、議論をしたけど変えなかったところがあれば。議会改革をやっているところを当たればもしかしたらあるかもしれない。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>点数に反映されない議会努力もあるし、それも市民と一緒に検討していたりしているところがあれば、市民から評価されている部分があって、現状維持、もしかしたら増やしたところもあるかもしれない。</p>
<p>西川副委員長</p>	<p>みなさんのネットワークにそういう情報があれば提供して欲しい。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>報酬減らせ、定数減らせ、議会が何をやっているか分からない、その3拍子だったが、今はそれとは少しずつ変わっている。</p>
<p>笹田委員</p>	<p>浜田市は2013年に24に下がってもう7年くらい経っている。今は若い市民の方と話しても、昔のような減らせ一方の声は少ない。我々が24に決めてから、24にしたところは5つしかない。それ以外はもっと長期間24でやっている。長くその定数を維持している所は、その人数の適正さを感じているのでは。それも研究する必要がある。</p>
<p>西川副委員長</p>	<p>今後のスケジュールで、4月に先進地視察が入っているので、これまでに視察先を決めたい。長く24の定数を維持している所という観点も入れて、もう少し調べてみよう。</p> <p>議員の定数の考え方。仕事量等の議論があったというトピックスがあれば探したい。皆さんも教えていただきたい。</p>
<p>小川委員</p>	<p>草津市はかなり長期に24人の定数を維持している。</p>
<p>西川副委員長</p>	<p>草津市は人口がかなり増えているせいもあると思う。</p>
<p>小川委員</p>	<p>人口が増えているのに定数が維持されているということは、人口比で言えば減っているともいえる。</p>
<p>笹田委員</p>	<p>現状の人口比の議員数の比較も知りたい。人口と議員定数を参考にできる資料が欲しい。4万人あたりから6万人くらいで。</p>
<p>西川副委員長</p>	<p>先ほど自分が紹介したデータも使えると思う。</p>
<p>古森局長</p>	<p>議長会が類団の諸々データを示している。ちなみに浜田の類団の定数は19人程度。</p>
<p>沖田委員</p>	<p>市民感情からすれば年間の報酬だと思う。一番の関心はそこではないか。人数イコール税金という考えをする人が8割程度いるのでは。報酬</p>

西川副委員長

についてのデータも欲しい。

報酬についても先ほどのデータにある。報酬審議会が今年度はもう終わったが、その中でも報酬については定数と合わせた議論が必要だと言われた。

佐々木委員

報酬についてだが、議会費は全体の 0.6% しかない。今はなり手不足の問題がある。それはなぜかといえば報酬が安く、議員でやっていけない現状のせいではないか。議員の地位を住民がどうとらえておられるか。何の保証もないので厳しい職だと思う。

沖田委員

地方議員は個人商店と同じ立場。年収 500 万円の事業所。そこから社会保険料も年金も払わねばならない、その上 4 年に一度選挙がある。決してうまいものでもない。

西川副委員長

今回、当委員会では議員定数のことを議論するが、合わせての話。議長も言われているとおり削減ありきでない議論を含めるべきだと思う。

古森局長

報酬は、セレクト条件として何をもって協議すればいいか。

沖田委員

24 人の定数で、浜田市と同等の人口規模がある自治体。

古森局長

期末手当も含めた年収と、報酬以外のものも含めるとなると相当時間が要る。どこまで求められるか。

西川副委員長

報酬審にある程度資料があるのでは。

古森局長

報酬にかかわるものは出たが。山陰 12 市だとか類団だとか。

西川副委員長

そういうものがあれば取り急ぎ出してもらいたい。議員定数の議論なので、参考という形で出してもらえれば。報酬審議会の資料は示してもらっていいのでは。

篠原次長

データはあるが、今日は用意していない。

西川副委員長

ほかにも今後必要なデータについてご意見があれば。

ないなら今後のスケジュール案を再度見てもらいたい。今までの話で何かご意見は。

西田委員

スケジュールはこのペースで良いと思う。

西川副委員長

次回は議員定数については第 5 回目で定数のあり方の視点・方向性を議論ということだが、議論に必要な資料は先ほどの話に出たものを用意して欲しい。人口 4~6 万人規模の団体の議員定数と。

古森局長

議員定数 24 人の報酬、年収ベース。報酬だけになるかもしれないが。

笹田委員

比較できればいい。

古森局長

あと報酬審の時のデータ。

西川副委員長

議員定数については、今日はこのくらいの議論でよかったですらうか。その他について何か。

沖田委員

議員定数はそもそも何をもってこの人数なのか。

西川副委員長

議会が決める。

西田委員

以前は人口規模に応じて法定定数があり、それに基づいて決めていたが、今は法定定数がなくなった。それぞれで決めることになっている。

あくまでも類団や同じ規模に合わせての落としどころを決めるという

のも手法の1つだし良いと思う。しかし、浜田市の規模、財政状況、諸々の環境に足を運んでいる議員が、市の施政のために最低この人数が必要だと自信を持って主張できる人数、思いを示したい。萩市が20人まで減らしたのはどういう思いがあったのか、我々はそういう思いを勉強したい。各地域の議員の思いを勉強したい。

笹田委員
篠原次長

前回24人にした時の理由が委員長報告に書いてあると思う。

ここにあるので読み上げる。「24名については、議会の監視機能の維持や広い市域の中で住民の声を聞くためには、また新人が出やすいようにするためには一定程度の定数が必要であり、類似団体の中でも浜田市と人口、面積の近い13市を独自に調べたところ、議員数の平均が25.1人というデータもあるが、市民アンケートも重いものがあり、さらには委員会、本会議での可否同数による混乱を避けるためにも偶数が望ましく、議論するのに必要と考えられる1委員会8名掛ける3委員会で24名にした」と中間報告で述べられている。

佐々木委員

もともとは人口いくらで定数が決まっていた、今度は上限いくらまでとなった。今はその上限もなくなり、各議会で決めることになった。議会が決めなければならないので非常に悩ましいが、そうなっているのでこの場で決めないといけない。

西村委員

減らす方向はもう、終わったように私は思う。いかに増やすかという発想の方が良いと個人的には思っているが、財政面のことがあるのでそうはいかないのであって。数は多い方がいい。質の問題と数は関係ない。24から下げる議論は基本的に反対だ。

沖田委員

人口以外は何も変わってない。そう考えるとなぜ減らす話をしなければいけないのか。それだけ財政力が落ちたのか。

西村委員

少しずつ人口は減っている。

笹田委員

あとは議会改革が進んでいる。進化している。

佐々木委員

議会は変わっている。前回の定数議論の時より明らかに、議会の取り組みが広がっている。市民にどれだけ伝わっているかはわからないが。その辺の、行政ができない部分に入り込んで政策に生かす、議員独自の働きを考えるともっと必要だという議論にならないと、定数だけにらんでいくと難しい。議会としての仕事を含めた議論をした方が定数を出しやすいのではないかな。

議題3 その他

(1) 平成24年8月実施の「浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート調査実施報告書」の配布

小川委員

前回の定数のアンケートを見たが、酷い。市民の目に映る議員は、すごく怠けているように思われている。何らかの形で、今の市民の方の意見を聞いても良いのでは。

佐々木委員

アンケートというスケジュールもあったので、前回と同じようにやれ

- 西川副委員長 ばいい。前はボロクソだった。それはそれで仕方ないと思う。
- 西川副委員長 5月にアンケートもしくは意見交換会とあるが、前回のアンケートについては事務局から説明があるのか。
- 篠原次長 参考として付けている。特に説明はない。8月発行の議会だよりにはがきサイズのものをつけて、切り取って記入して出してもらった。この方法でも悪くはないが、費用がかかる。偏った意見しか出てこない可能性もある。無作為に抽出して送って回収すれば、まんべんなく意見がもらえるのでは。
- 笹田委員 アンケートの聞き方にも疑問がある。正副委員長で案を示していただき、こちらでまた質問事項や方法まで議論してからやればいい。
- 西川副委員長 アンケートについてまた議論するというので。皆さん実施するという方向でいいか。
- （ 「はい」との声あり ）
- 西川副委員長 他になれば次回開催案だが。事務局の案は。
- 篠原次長 2月17日の週くらいに1回出来ればいいかと思うが。
- （ 以下、日程について協議 ）
- 西川副委員長 次回は2月18日（火）10時から。よろしく願います。議会改革が見えるような資料があれば。通年会期、委員会開催日数等が当時と比較できるデータはないか。
- 古森局長 委員会等については、上半期は報酬審の関係で出したが、議員の出席日数は去年と比べて1.3倍。政策討論の関係で委員会の開催回数が増えたのが理由だと思われる。
- 西川副委員長 次回は、定数を決める材料が思いつけば言っていたきたい。では本日は以上で会議を終了する。

（閉議 16時03分）

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議員定数等議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 ⑩